

桜の花が九段界隈に華やぎを添える頃となりました。キャンパスでは、旅立ちと出会いの季節が始まりました。そんな季節なのか、学生相談室でも、キャンパス探索の一環として皆さんが気楽にのぞきにきてくださるのをお待ちしております。そこで、今回は学生相談室の雰囲気をお伝えする一場面を紹介したいと思います。

学生相談室では、年に数回、イベントと称して、食べ物企画が催されます。卒業、クリスマス、七夕、ハロウィンなどなど。狭いフリースペースにちょうど収まるくらいの人たちが三々五々集まって、ナンヤカヤいいながら、ホットプレートで餃子を焼いたり、ケーキを飾り付けたりして、ひとときを過ごします。世間では、イベントといえ、できるだけ多くの人が元気ににぎわうことを目標に掲げる雰囲気があるかも知れません。でも、学生相談室の目標は、その人らしく。そのような機会でも、その人が無理しすぎないでいられ

学生相談室

だより **96**

カウンセラー・教授 改田明子

ることを大切にしてゆきたいと考えています。その人らしさは、ケーキや餃子を作りながら、発揮されます。不器用ながらも一生懸命さがにじみ出たり、意外と慣れた手つきでこなしたり、なかなか手が出なかつたり、批評専門だつたり。個性的な形の餃子は、それぞれに味わい深いものです。活動をともにすることを通じて、

その人らしさがにじみ出てくるのを味わうのが私の密やかな楽しみです。むやみに盛り上がりなくとも、そのときどき、たまたま集ったメンバーの織りなす味わいがあって楽しいものです。はしゃいでもいいよ、はしゃがなくてもいいよ、と。

このような雰囲気は、見栄えを気にしすぎることなく、楽に過ごすというスキルを育むことにながるかもしれません。肩の力を抜くことは、長丁場の学生生活のなかで意外と大切なスキルです。緊張の続く新生活のなかで、ほっとできる場であることを感じてもらえればと思います。

来年度もよろしくお願ひします。